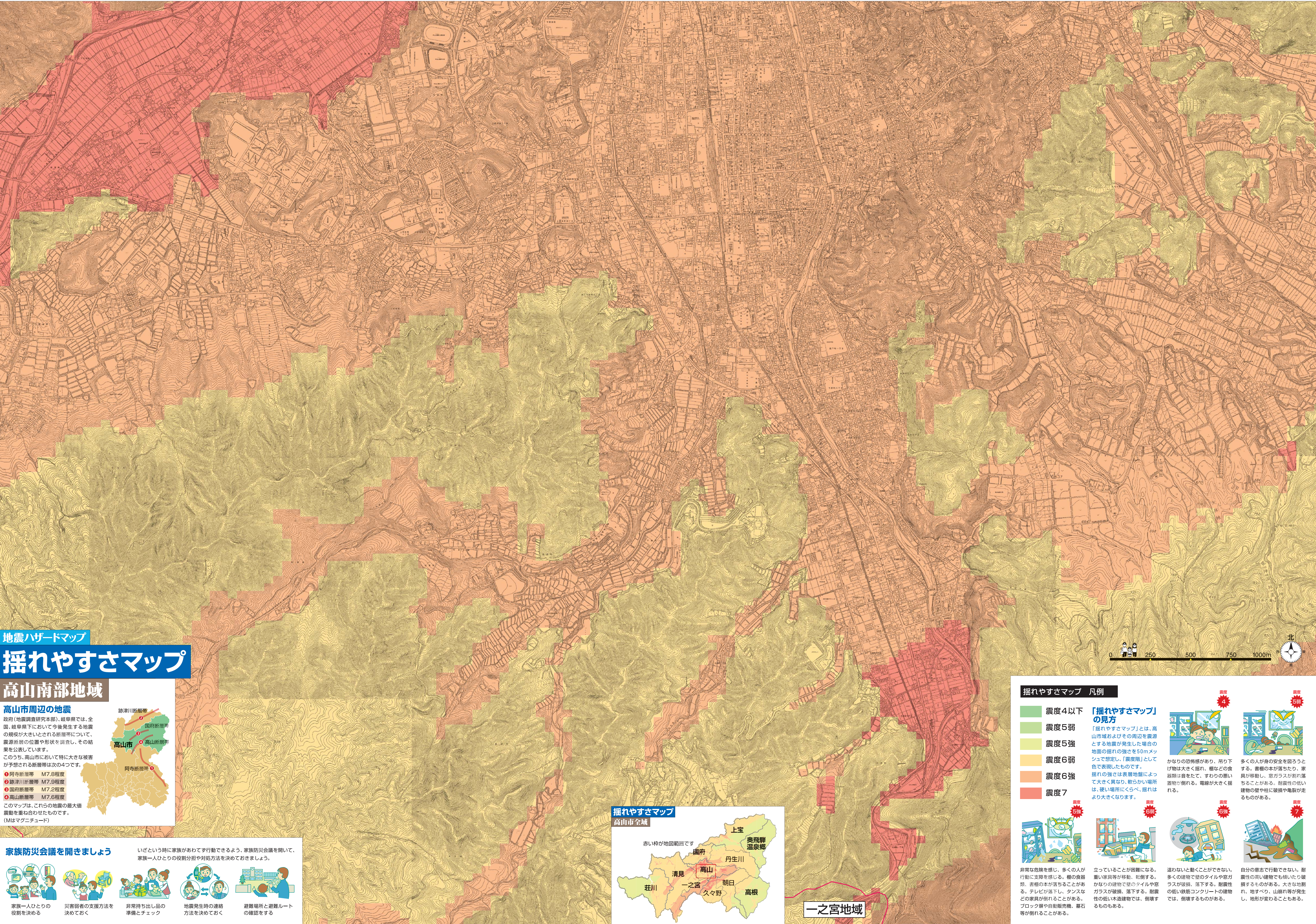




地震ハザードマップ

揺れやすさマップ

高山南部地域

高山市周辺の地震

政府（地震調査研究本部）、岐阜県では、全国、岐阜県下において今後発生する地震の規模が大きいとされる断層帯について、震源断層の位置や形状を調査し、その結果を公表しています。

このうち、高山市において特に大きな被害が予想される断層帯は次の4つです。

- 阿寺断層帯 M7.8程度
- 鈴津川断層帯 M7.9程度
- 国府断層帯 M7.2程度
- 高山断層帯 M7.6程度

このマップは、これらの地震の最大値震動を重ね合わせたものです。（Mはマグニチュード）

家族防災会議を開きましょう

いざという時に家族があわてず行動できるよう、家族防災会議を開いて、家族一人ひとりの役割分担や対処方法を決めておきましょう。



家族一人ひとりの役割を決める



災害弱者の支援方法を決めておく



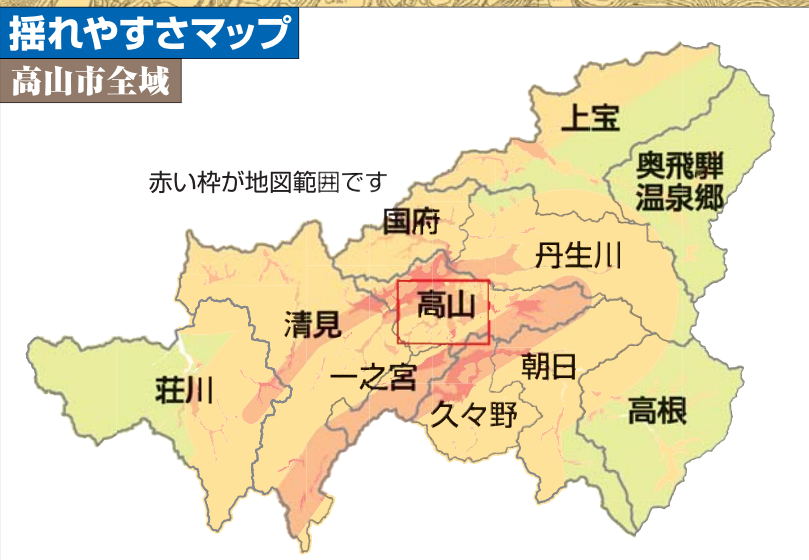
非常持ち出し品の準備とチェック



地震発生時の連絡方法を決めておく



避難場所と避難ルートの確認をする



揺れやすさマップ 凡例

- 震度4以下
- 震度5弱
- 震度5強
- 震度6弱
- 震度6強
- 震度7

「揺れやすさマップ」の見方

「揺れやすさマップ」とは、高山市域およびその周辺を震源とする地震が発生した場合の地面の揺れの強さを50mメッシュで想定し、「震度階」として色で表現したものです。

揺れの強さは表面地盤によって大きく異なり、軟らかい場所では、硬い場所にくらべ、揺れはより大きくなります。



震度5弱

かなりの恐怖感があり、吊り下げ物は大きく揺れ、棚などの食器類は音をたて、すわりの悪い置物が倒れる。電線が大きく揺れる。



震度5強

多くの人が身の安全を图ろうとする。書棚の本が落ちたり、家具が移動し、窓ガラスが割れ落ちることがある。耐震性の低い建物の壁や柱に破損や亀裂が走るものがある。



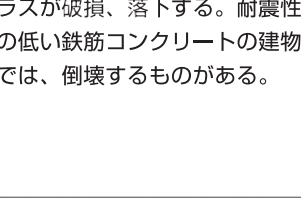
震度6弱

立てていることが困難になる。重い家具等が移動、転倒する。多くの建物で壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。耐震性の低い鉄筋コンクリートの建物では、倒壊するものもある。



震度6強

連わないと動くことができない。多くの建物で壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。耐震性の低い鉄筋コンクリートの建物では、倒壊するものがある。



震度7

自分の意志で行動できない。耐震性の高い建物でも傾いたり破損するものがある。大きな地割れ、地すべり、山崩れ等が発生し、地形が変わることもある。